

編集後記

所得水準の上昇や余暇時間の増大とともに、高齢化、国際化がすすむなかで旅行ブームが広がり、国内旅行、海外旅行とも活況を呈している。旅行サービスの供給サイドにおいては、快適性、利便性、高速性などのニーズに応え、多様な旅行商品の開発、交通サービスの充実、観光レクリエーション施設の整備など、質的改善を図る方向に向かっている。

旅の形態は、マイカー、バス、鉄道、船、航空機を利用するものなど多様化している。船旅には内航・外航フェリーが就航しているが、平成時代に入って本格的なクルーズ客船が相次いで就航し、外航客船時代の幕開けを迎えた。外航客船の利用者は、日本人の海外旅行者ばかりでなく、韓国、中国など近隣諸国からの訪日旅行者も多く需要が堅調で、新規路線の開設も見込まれるなど拡大基調を続けている。一方、国際航空需要は急激に増加しており、これに対処するために国際空港の整備はもとより、地方空港の国際化も必要になっている。地方空港の国際化は、多極分散型国土形成の大きな柱になるものと期待されている。

このような時代の進展のなかで本号は、長距離フェリー、出入国者と国際航空輸送に焦点を向けて考察した。また物流環境の変化に伴う倉庫業の経営分析を試みるとともに、商店街の流通問題を取り上げた次第である。

(1991年10月、山野辺)